

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第5127073号
(P5127073)

(45) 発行日 平成25年1月23日(2013.1.23)

(24) 登録日 平成24年11月9日(2012.11.9)

(51) Int.Cl.
A 4 4 B 13/00 (2006.01)F 1
A 4 4 B 13/00

請求項の数 8 (全 8 頁)

(21) 出願番号	特願2009-547717 (P2009-547717)	(73) 特許権者	509214023
(86) (22) 出願日	平成20年1月25日(2008.1.25)		エスクデロ ムノーテェ, ユアン アント
(65) 公表番号	特表2010-516418 (P2010-516418A)		ニオ
(43) 公表日	平成22年5月20日(2010.5.20)		スペイン イー-28031 マドリッド
(86) 国際出願番号	PCT/ES2008/000039		, デ ルツォン ストリート, ホラン
(87) 国際公開番号	W02008/092975		ド ホーム 6
(87) 国際公開日	平成20年8月7日(2008.8.7)	(74) 代理人	100081053
審査請求日	平成23年1月4日(2011.1.4)		弁理士 三俣 弘文
(31) 優先権主張番号	P200700226	(72) 発明者	エスクデロ ムノーテェ, ユアン アント
(32) 優先日	平成19年1月29日(2007.1.29)		ニオ
(33) 優先権主張国	スペイン (ES)		スペイン イー-28031 マドリッド
			, デ ルツォン ストリート, ホラン
			ド ホーム 6
		審査官	北村 龍平
			最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 衣類を身体に留める装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

衣類を身体へ締め付ける装置において、
 2つ部品（1、2）から構成される中央要素を有し、
 前記2つ部品（1、2）は、それぞれ、前記締め付ける装置を衣類のループ（4）
 に係合する手段（5）を有し、
 前記部品（1、2）は、弾性要素（3）で、互いに連結され、
 前記弾性要素（3）は、前記部品（1、2）に、配置固定され、その際に、前記弾
性要素（3）の収縮時の前記締め付ける装置の有効長さは変更可能であり、
 前記弾性要素（3）の収縮時の有効長さから、前記弾性要素（3）自体の弾性変形
 により、前記締め付ける装置の長さが、更に変化できる
 ことを特徴とする衣類を身体へ締め付ける装置。

【請求項 2】

前記締め付け装置を衣類のループに固定する手段は、フック（5）で形成され、
 前記フック（5）は、前記部品（1、2）に一体に形成され、前記フック（5）間
 の長さは、前記フックが取り付けられる前記ループ（4）間の有効長さ以下である
 ことを特徴とする請求項1記載の装置。

【請求項 3】

前記フック（5）の一方は、対応するループ（4）上で閉じられるリンクを構成し
 、

10

20

前記フック（５）が、前記ループ（４）から、外れることを防止することを特徴とする請求項２記載の装置。

【請求項４】

前記弾性要素（３）は、
その最短位置において、前記部品（１、２）の後に隠れ、
その最長位置において、離間した前記部品（１、２）の間にあり、前記締め付ける装置の前面から見え、

前記弾性要素（３）は、ゴム製ストリップで形成され、一連の金属製ブッシング（６）でカバーされる
ことを特徴とする請求項１－３のいずれかに記載の装置。

10

【請求項５】

前記部品（１、２）は、裏面で、軸（７－７'）を有し、
前記軸（７－７'）は、前記弾性要素（３）の端部に取り付けられ、
前記軸（７－７'）は、一對にグループ分けされ、グリップ（８）で固定され、
前記グリップ（８）は、前記軸（７－７'）が挿入されるホールを有する
ことを特徴とする請求項３記載の装置。

【請求項６】

前記部品（１、２）は、その裏面で、均等に分布したオリフィスを具備する縦方向の飾りを有し、
前記オリフィス内に前記弾性要素（３）の自由端が取り付けられ、
前記自由端は、前記フックとして構成される
ことを特徴とする請求項３記載の装置。

20

【請求項７】

前記部品（１、２）は、前記フック（５）が、完全に隠れる大きさであり、
その結果、前記フック（５）は、前記締め付ける装置の前面から見えない
ことを特徴とする請求項２記載の装置。

【請求項８】

前記弾性要素（３）は、クリップ（１０）を具備し、
前記クリップ（１０）が、前記締め付ける装置を衣服に取り付ける
ことを特徴とする請求項２記載の装置。

30

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【０００１】

本発明は、衣類（例、ズボン）をユーザの腰周りに固定する、即ち衣類をユーザの体に留める付ける装置に関する。この締め付け（留め付け）装置は、ズボンのウエストの位置に配置されたループ（そこにベルトを通す）、溝、又は他の類似の要素を利用する。

【背景技術】

【０００２】

衣類（特に、ズボン）の締め付け装置は、古くから公知であり、特許文献１に開示されている。同文献の締め付け装置は、バックルを有し、従来のベルトに類似し、ベルトの場合のように、それ自身の上では重ならない。この締め付け装置は、２つの部品から形成され、ズボンのウエストのバンドの半分の周囲に作用し、ボタンとボタンホールにより、ズボンに取り付けられる。

40

【０００３】

この締め付け装置の外観と特徴は、ユーザに従来のベルトと同様な性能を提供する。

【０００４】

より進化した形態の締め付け装置が特許文献２に開示されている。同文献の締め付け装置は、ズボンの一對のループを用いる１本の紐状部品で構成される。各端部において、"Velcro（オランダのベルクロ社の登録商標：２枚一組の布の着脱や取り付けが簡単で

50

、サイズ調節もできる。) ” 式の取り付け要素を有する。この取り付け要素が、紐状部品をその上に保持することにより、それぞれのループに固定される。ここに開示された締め付け装置は、心地よく使用できず、締め付け具というよりも装飾品として設計されたものである。この締め付け具は、通常一対でウエストの両側で使用される。この締め付け具は、本来は装飾品であり、ウエストの周囲で衣類の見栄えを改善するが、ユーザの身体に衣類を固定する為の締め付け具としては機能していない。

【0005】

特許文献3に開示された最新の解決方法は、締め付け装置そのものである、即ち装飾品ではない。この締め付け具は、衣類上の一対のループを使用する。この締め付け装置は、リング形状の2つの部品で形成され、このリングがループに固定される。このリングの一方に不動に固定されるものは、ベルトである。このベルトが対応する部分を通して、他のループまで届き、それ自身の上に重なりあい、中央のバックルと共働して安定化する。この締め付け装置は、従来のベルトの外観を呈する締め付け装置であり、特にユーザのズボンがジャケットで隠れた時にはそうである。さらにまた、ループへの固定システムにより、これらの締め付け装置は、全体を見ることができ、明らかな変形を受けるが、これは、締め付け装置の引っ張り効果によるものである。この締め付け装置は、あまり好ましくない跳ね返りを有する。

【0006】

特許文献4に、中央要素により形成された衣類への締め付け装置が開示されている。この中央要素は、締め付け装置の装飾用の支持部材と、各端部で伸びる適宜の長さの中央要素とを有する。この中央要素には、結合要素即ちフック要素を具備し、これらはそれぞれのループ（それ自身の上に重なりあった後方部分に取り付けられる）を通り、再び中央要素に達し、その裏で結合／固定される。これらの全てに、必要な引っ張り力が加わり、目的とする結合（締め付け）効果を達成している。

【0007】

上記した改善により、締め付け装置の見栄えが良くなり取り扱い易くなっている。しかし依然として、ループの外観とループに締め付け装置を固定する手段、締め付け装置の長さの調節が不可能である点、ウエストの形状に締め付け装置を調整することが困難である点、特に、ループが離れている時に、一連の問題が存在する。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0008】

【特許文献1】米国特許第1017544号公報

【特許文献2】米国特許第4800594号公報

【特許文献3】米国特許第5566397号公報

【特許文献4】特開第200502173号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0009】

本発明の目的は、ズボンのループ間の様々な距離に適合でき、その使用時の長さを調節できる装置を提供することである。具体的には、その部品の弾性特徴により、装置の長さを変化させ、その外見を美しく見せるような要素に適合する締め付け装置を提供することである。

【0010】

本発明の目的は、締め付け装置を組み立てる為に使用されるループ及び締め付け装置がループに取り付けられる部品／方法を提供し、締め付け装置（弾性部品）を隠し、最適な見栄えを提供することである。本発明は衣類のアクセサリにもなる。

【課題を解決するための手段】

【0011】

本発明の締め付け装置は、新たな技術を提供する。本発明により締め付け装置の弾

10

20

30

40

50

性機能は、中央要素に移す。この中央要素を調整して、ループ間の変動する距離にかかわらず、締め付けの程度を適切に維持する。このループ間の距離は、同一のユーザでも、着用される衣類で異なる。

【0012】

これを達成する為に、より特殊な方法として、上記の中央要素を2つの部分に分割する。この2つの部分を互いに弾性部品で連結する。この弾性部品は、前記2つの部分のそれぞれに動かないよう、固定される。

【0013】

本発明の最後の特徴は、前記の弾性要素が、中央要素の2つの部分にその長さ方向で異なった点で固定されることである。その結果、締め付け装置の有効長さが変わり、これにより大きく変動する長さの締め付け装置を提供できる。

10

【0014】

本発明のさらなる特徴は、弾性要素が目に見え、時に中央部品の美的外観を改善する。この為に、これらは、他の部品で置換してもよく、締め付け装置の有効長さのみならずその外観も変えることができる。

【0015】

本発明のさらなる特徴は、中央要素の2つの半分の部品に取り付けられる弾性部品を有する。この弾性部品の一方は、それをズボンあるいは衣服に固定する要素（例、クリップ）を具備する。変形がループ間の衣服の領域で発生しない。このループに、締め付け装置が変形部品として固定され、全体の外観上の後続の跳ね返りを有する。かくして締め付け装置は、衣服のウエスト部分に完全に装着される。

20

【0016】

本発明の一実施例によれば、回転可能な軸方向の整合が、中央要素の各半分の一方の上に、好ましくは分離して、確立される。これらの部品の数は、半分の部品の間に取り付けられる弾性要素の数に一致する。各弾性要素は、その一端でボタンホールあるいは他のオリフィス（穴）を有する。このボタンホールとオリフィスが、回転要素を安定して収納する。各回転部品が選択されるに従って、締め付け装置の様々な有効長さが得られ、その後弾性的に伸ばすことができる。

【0017】

中央要素の各半分は、ループ又は衣類上の類似の要素に各半분을固定する手段として、剛性フックを組み込む。この剛性フックは、好ましい幅でループの有効長さほど広くはない。このフックの上記の寸法の目的は、それぞれのループの変形を最小にして、その全体又は全長に取り付けることである。前記のループは隠されるが、それは上記のループが中央要素のそれぞれの半分の外側エッジの下に来るからである。

30

【0018】

これらのフックの一方は、クロスアーム（cross-arm）クリップを構成する。これにより締め付け装置が衣類に取り付けられるが、これは他端が衣類から分離している時でも衣類に引っ掛けている。かくして、偶発的に落ちることはない。

【0019】

中央要素の2つの半分の部品をリンクする弾性要素は複数個あり、その中央領域で互いに独立している、あるいは関連している。そして1つの部品の形態であり、これにより、中央要素の2つの半分の部品が分離された時でも見ることのできる美的外観を向上させる。締め付け装置を美的に向上させるために、他の部品で置き換えることもできる。

40

【図面の簡単な説明】

【0020】

【図1】本発明の一実施例の衣類の締め付け装置の正面図。

【図2】図1の締め付け装置の背面図。

【図3】本発明の他の実施例の締め付け装置の正面図で、前記締め付け装置を最大長さにした状態を表す図。

【図4】図3の締め付け装置の背面図。

50

【図 5】図 1 の締め付け装置の上面図。

【発明を実施するための形態】

【0021】

図面を参照すると、本発明の締め付け装置は、中央要素で形成される。この中央要素は、装飾された平坦な部品である部品 1, 2 に分割される。前記部品 1, 2 は、図 1、2 では一部重なっており、図 3、4 では離れている。部品 1, 2 は、弾性要素 3 で連結されている。この弾性要素 3 は、ゴム製のストリップ（紐、細長い片）で、前記部品 1, 2 を引き付けている。

【0022】

図 5 に示すように、部品 1, 2 は、ズボンの 2 つのループ 4 に取り付けられる。部品 1, 2 は、それぞれその裏面にフックであるアタッチメント 5 を有する。このフック 5 は、かぎ状でループ 4 に取り付け可能であり、2 つのフック 5 間の長さは、2 つのループ 4 間の有効長さよりも若干短く、弾性要素 3 の変形は最小となる。

【0023】

これらのフック 5 は、ヒンジ機構、即ち、閉めた弾性クリップの形態（即ちフック 5 をループ 4 に永続的に固定する構造）を具備する。これにより、締め付け装置が、他方のフック 5（とループ 4）から分離した時に、締め付け装置は、フック 5 はループ 4 に取り付けられたままであるので、ズボンに取り付けられたままになる。必要な時には、クリップあるいはヒンジを開くことにより、離すことができる。これにより、衣類がウエストの位置で偶発的に開いた時に、締め付け装置が落下するのを防止する。

【0024】

弾性要素 3 は、金属製の複数の管状要素 6 と組み合わせることにより、ソケットの形態を採る。ソケットは、締め付け装置の外観に影響を及ぼすように装飾的であり、特に図 3、4 に示すように、最大長さの時に装飾的機能を発揮する。ソケットは、単なる一実施例で、弾性要素 3 を、締め付け装置の外観を形成するような他の構造で置換できる。

【0025】

弾性要素 3 を、部品 1, 2 に対し「段階的に」位置調整を可能にする為に、図に示した実施例においては、部品 1, 2 の裏面に、一対の軸 7-7' を複数個形成し、これを選択的に用いる。弾性要素 3 を一対にグループ分けに（その結果、2 個の対ができる）する。その対の弾性要素 3 は、この弾性要素 3 を収納する装飾的な管状要素 6 を介して、平坦なグリップ 8 の対の手段で、部品 1, 2 の端部に固定される。このグリップ 8 は、互いに離れおり、弾性要素 3 と複数のオリフィス 9 と共に、軸 7 のいずれかに選択的に取り付けられる。具体的に説明すると、軸 7 が一対の管状要素 6 の間に入り込むことにより、弾性要素 3（即ち管状要素 6）を部品 1 又は 2 に固定する。

【0026】

かくして、本発明の締め付け装置は、図 1 の短い配置位置から、図 3 に示す位置まで長くなる。これら 2 つの位置のいずれかから、弾性要素 3 を変形する即ち弾性的に伸ばし、ユーザのウエストにループ 4 に、適宜の引っ張り力を与えることができる。このループ 4 に、フック 5 が引っ掛けられる。

【0027】

上記した部品 1, 2 に弾性要素 3 を固定する措置は、本発明の単なる一実施例である。前記固定措置の位置を調整する方法は、部品 1, 2 の裏面上に配置された適宜の複数の穴を開けた縦方向の「飾り（plaques）」で実現することもできる。この穴に、弾性要素 3 の端部のあるフックが配置される。これは、弾性的に収納可能なピン、又は他の適宜の手段を用いて行われる。

【0028】

図から判るように、部品 1, 2 の構造は、フック 5 が完全に隠れるよう、それ故に、フック 5 が取り付けられるループ 4 も完全に隠れるよう、構成される。その結果、フック 5 の寸法にかかわらず、ループ 4 内の目に見える変形を回避できる。このような変形が起こる場合でも、この変形は、図 1、3 に示すように、着衣した場合目では見えない。

【0029】

本発明の変形例として、弾性要素3は上部位置を占有する。装飾的要素の上部領域と中間領域に、図5に示すようなクリップ10が、配置される。この装飾的要素は、弾性要素をカバーする管状要素6を置換する。クリップ10を取り付ける目的は、ズボンあるいは衣服のベルトの上部エッジに、その前面と中央面で引っ掛ける。かくして、本発明の衣類の締め付け装置を衣類に取り付ける（留める）際の安定性が達成できる。本発明の衣類の締め付け装置が衣類の上部エッジに取り付けられ、2つのループの間でズボンが下がるのを防止できる。

【0030】

以上の説明は、本発明の一実施例に関するもので、この技術分野の当業者であれば、本発明の種々の変形例を考え得るが、それらはいずれも本発明の技術的範囲に包含される。特許請求の範囲の構成要素の後に記載した括弧内の番号は、図面の部品番号に対応し、発明の容易なる理解の為に付したものであり、発明を限定的に解釈する為に用いてはならない。また、同一番号でも明細書と特許請求の範囲の部品名は必ずしも同一ではない。これは上記した理由による。

10

【符号の説明】

【0031】

- 1 部品
- 2 部品
- 3 弾性要素
- 4 ループ
- 5 フック
- 6 管状要素
- 7 ピボット
- 8 グリップ
- 9 オリフィス
- 10 クリップ

20

【図 1】

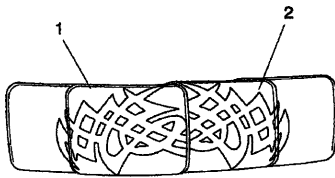


FIG. 1

【図 2】

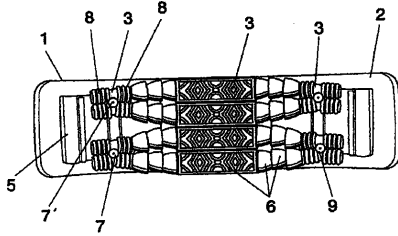


FIG. 2

【図 3】

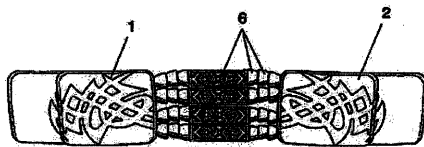


FIG. 3

【図 4】

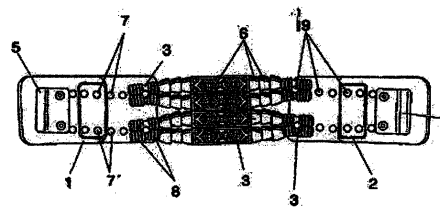


FIG. 4

【図 5】

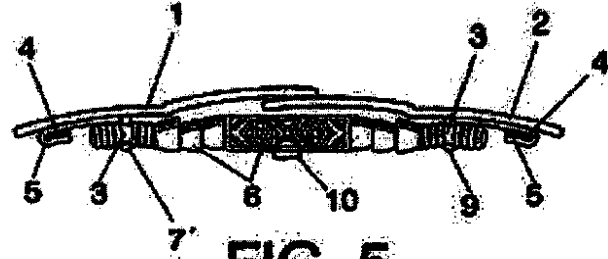


FIG. 5

フロントページの続き

- (56)参考文献 登録実用新案第030920 (JP, Z2)
実開昭61-183911 (JP, U)
実開平07-019324 (JP, U)
実開昭50-002525 (JP, U)
特開平07-278928 (JP, A)
特公昭37-001975 (JP, B1)
登録実用新案第3023360 (JP, U)
特開2002-266139 (JP, A)
登録実用新案第3028085 (JP, U)
登録実用新案第3025989 (JP, U)
特開平11-350224 (JP, A)
特開2003-102520 (JP, A)
実開昭49-000367 (JP, U)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A41B 9/00 - 9/02
A44B 11/00 - 18/00
99/00